

より豊かな未来のため、日本の農林水産業の"いま"を調査する

農林水産統計調査

専門調査員 募集

令和
8年度
副業としても
可能です

専門調査員とは、

- ① 農家等を訪問し、経営概況、農畜産物の生産に要した費用、労働時間等の把握を行う「**経営統計**」又は、
- ② 水稻の穂数・もみ数等の計測や刈取調査、ほ場一筆ごとの田畑の地目・境界等の現地確認等を行う「**生産統計**」に従事していただく調査員です。

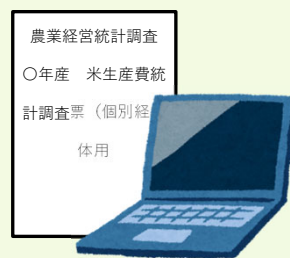
※ 希望により、①と②の両方の業務に従事することも可能です。また、調査に必要な知識や技能を習得するための研修制度があります。

経営統計

業務内容

定期的に農家等を訪問し、調査票の回収・聞き取りを行い、経営概況、農畜産物の生産に要した費用、労働時間等について、項目別にシステムに入力・審査・集計。

※受け持つ調査や担当する農家数は、相談の上、決定します。



報酬の目安(農家1件当たりの平均的な業務日数と報酬(例))

- 農産物に関する調査の場合 : **1農家当たり(約16日) 約19万円。**
- 畜産物に関する調査の場合 : **1農家当たり(約24日) 約28万円。**

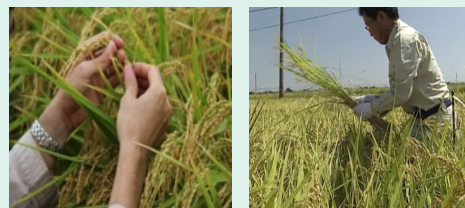
注:調査員が受け持つ農家数は平均で4件となりますが、習熟度に応じて増減します。

生産統計

業務内容

田に出向いて、水稻の穂数・もみ数等の計測や刈取調査のほか、ほ場一筆ごとの田畑の地目・境界等の現地確認や調査対象作物の調査票の回収・審査等を担当。

※受け持つ業務や担当する調査区画等の数は、相談の上、決定します



報酬の目安(水田1枚当たりの平均的な業務量と報酬(例))

- 水稻の調査箇所を選定、畝幅・株間の実測の場合: **水田1枚当たり(3箇所) 約2,800円。**
- 水稻の穂数・もみ数等の実測の場合: **水田1枚当たり(穂数20箇所、もみ数10箇所) 約3,700円。**
- 水稻の刈取・脱穀の場合: **水田1枚当たり(約60株) 約6,100円。**

注:調査員が受け持つ水田は平均で約8枚となりますが、習熟度に応じて増減します。

勤務地

〇〇県内の調査農家・農地・県拠点等

募集要件

次の要件を全て満たす者が応募できます。

- ① 一定の就業経験(大学院卒業後2年以上、大学卒業後4年以上、高校卒業後9年以上)を有する者
- ② 統計調査の実務経験を一定以上有する者
- ③ 当該統計調査を円滑に実施できる知識等を有すると認められる者又は有することができると認められる者

※ ①及び②には特例措置があります。また、③の知識等は農林水産省が主催する研修を受講することにより要件を満たす者も含まれます。

なお、パソコンを使用する業務もありますので、パソコンの基本操作(ワードやエクセル等)ができることが望ましいです。

※ 応募にあたっては、勤務先の下承が必要な場合があります。気になる方は事前に勤務先へご確認ください。

身分

任命期間中は、非常勤の一般職の**国家公務員**となります。このため、公務員としての**守秘義務等の責任**が伴います。

応募の流れ

募集

(1月中旬～2月中旬)

面接

(1月下旬～2月下旬)

基礎的研修

(調査・農業の基本的知識について習得します)
(2月下旬～3月中旬)

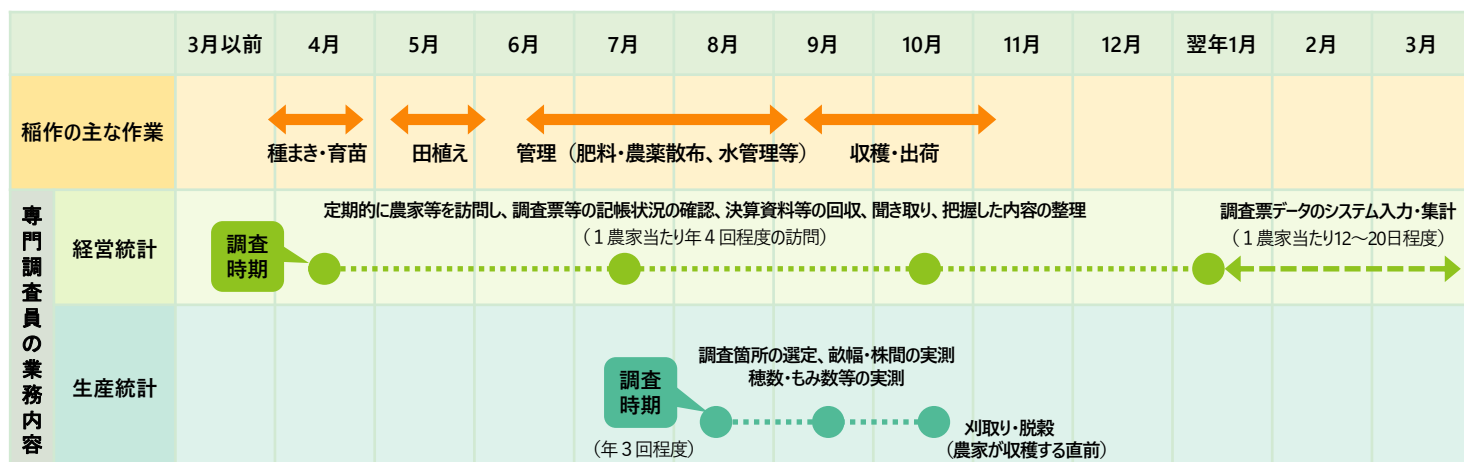
任命

(4月上旬)

調査業務

- 担当職員の指導の下で手順などを習得していただいた後、自ら調査を行っていただきます。
- 調査業務のスキルアップのため、経営統計と生産統計それぞれについて、研修があります。

年間の業務スケジュールの平均的な事例(水稻を調査する業務の場合)



経験者の声

VOICE 01

経営統計専門調査員 4年目
Aさん(40代・女性)・専業主婦



子育て中ということもあり、時間を調整しながら自分のペースで調査ができるので、この仕事を担当できて良かったと思います。

VOICE 02

生産統計専門調査員 3年目
Bさん(60代・男性)・自営業



現地に出向いての調査は、普段行くことのない場所に赴くことができ、新たな発見をすることもあり、やりがいのある仕事だと思います。

【問い合わせ先】

〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇〇市〇〇〇 〇-〇-〇
農林水産省〇〇農政局〇〇県拠点統計担当
☎〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

農林水産 専門調査員

検索

農林水産省WEBサイト
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kikaku/senmon_tyousain_fukyu.html

